

1月30日 自分の命を守るために 交通安全教室を実施



川湯保育園(番場新一郎園長)で1月30日、交通安全教室「こぐまクラブ」が行われました。こぐまクラブでは年に数回交通安全について学んでおり、今回は、雪道での危険性や運転席からの死角について学びました。そりに乗ったダミー人形が車にはねられる様子などを見て、気を付けて遊ぶことを約束しました。

1月27日 北海道では初、全国でも2例目 北海道と鹿児島で姉妹ルート盟約を締結



釧路渥原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ(桐木茂雄ルート代表)と薩摩よりみち風景街道協議会(茂原眞琴会長)は1月27日、鹿児島市内で姉妹ルート盟約を締結しました。道路沿いの日本の美しい景観や自然などを地域活性化につなげることを目的に、国土交通省が認定する「日本風景街道」の一環で、阿寒横断道路の建設を指揮し、阿寒国立公園の父と呼ばれた鹿児島県日置市(旧東市来町)出身の永山在兼氏のご縁から交流が進み、今回の盟約締結となりました。今後は、お互いのルートの現地視察などで連携を深め、より活発な交流が期待されます。

1月6日～31日 個性豊かな作品の数々 年賀状の作品展を開催



弟子屈郵便局(藤原将男局長)では、町絵手紙摩周湖(藤原直美代表)と弟子屈小学校(渥美清孝校長)2年生18人による年賀状作品展が同時開催されました。町絵手紙摩周湖の作品は、干支「巳」を題材に99点が展示されました。児童の作品は、絵に加え「元気に過ごしてね」など心温まるメッセージも添えられていました。今回展示した児童の作品は、第22回全日本年賀状大賞コンクールにも応募されています。

カメラスケッチ

広報マンが行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

2月3日 町の魅力が盛りだくさん 第14回弟子屈フォトコンテスト審査会を実施



摩周湖観光協会(渡辺隆幸会長)が主催する「第14回弟子屈フォトコンテスト」の審査会が2月3日、摩周観光文化センターで行われました。審査会には、町在住の写真家水越武さんが特別審査委員として参加し、30作品ほどに絞り最優秀賞を選定。関係団体の審査員がその中から優秀賞など入賞作品を決定しました。今回は「星空」「雲海」「アクティビティ」「自由」の各部門に、道内外の154作品の応募があり、渡辺会長は「コンテストをきっかけに多くの人が弟子屈に訪れてくれたら嬉しい。」と話していました。入賞作品は「弟子屈なび」でご覧ください。

2月3日～28日 北海道道東風景印散歩 越前コレクション展示会を開催



弟子屈郵便局(藤原将男局長)では、2月1日～28日まで「北海道道東風景印散歩 越前コレクション」展示会が開催されました。これまで越前清美さん自身が各郵便局に行き、道東を中心とした小型印や風景印、フレーム切手が発行されているものはセットで集めてきました。今回は297点を展示。各小型印のサイズは同じですが、たくさんのデザインを見比べることができ、来場者の目を楽しませていました。

2月5日 ピアノ・トロンボーンで全国・全道大会へ 田中南美さんと中村龍之介さんが表敬訪問



弟子屈中学校(小林一博校長)2年生の田中南美さんと、弟子屈小学校(渥美清孝校長)6年生の中村龍之介さんが、2月5日(水)、徳永町長と岩原教育長を表敬訪問しました。田中さんは12月21～22日に札幌市で行われた、第15回日本パッサコンクール地区大会において見事優秀賞を受賞。東京都で2月16日に行われた全国大会に進出しました。中村さんは1月18日に釧路市で行われた第51回釧路地区音楽器個人コンテスト小学生の部において、トロンボーンで出場し見事金賞を受賞。地区代表に選ばれ2月16日に札幌市で行われた第61回北海道音楽器個人コンテストに出場しました。町長と教育長から激励の言葉が贈られ、二人は「悔いのないように頑張ります」と意気込みを語りました。

2月4日 子どもたちの防災教育に 弟子屈防火管理協議会が防災絵本を寄贈



弟子屈防火管理協議会(筒井庄一会長)は2月4日、大型の防災絵本8冊を寄贈しました。寄贈した本は、阪神淡路大震災を経験した消防官が原案を手がけたもので、震災時の命の守り方を分かりやすく紹介しています。同震災発生から30年の節目を迎え、釧路でも大きな被害が懸念されることから子どもたちの防災教育のために、町内の小学校や川湯保育園、こども園などに寄贈されました。町役場で寄贈式が行われ、徳永町長は「子どもたちにとって、良い教材になる。」と話していました。

1月26日 王鵬関を弟子屈町から応援しよう！ パブリックビューイングを開催



王鵬関を弟子屈から応援する会(竹森英彦会長)が1月26日、優勝争いを繰り広げる王鵬を応援するため公民館講堂でパブリックビューイングを開催しました。会場には多くの町民が集まり王鵬のうわなどを手に声援を送りました。2敗の金峰山を押し出しで下し、優勝決定戦に持ち込むと会場内は大歓声に包まれました。決定戦では大関の豊昇龍に敗れ、惜しくも初優勝を逃しましたが、初の三賞となる技能賞を獲得しました。竹森会長は、「横綱を目指して頑張ってください。」と話していました。

1月22日 食育の一貫 川湯保育園でうどん作り



川湯保育園(番場新一郎園長)で1月22日、食育の一環として町産の小麦粉を使用したうどん作りをしました。園児たちが小麦粉に水を入れて混ぜた後、足で踏んで一から生地を作りました。30分ほど寝かせ、完成した生地は製麺機を使用し、うどんの太さに切っていました。昼食には、園児たちで作った出来立てのうどんを食べて「もちもちで美味しい。」とたくさん笑顔が見られました。

1月27日 特別授業 「地球の熱を電気に変える!! 地熱発電」



弟子屈小学校(渥美清孝校長)で1月27日、特別授業「地球の熱を電気に変える!! 地熱発電」が開催されました。独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)(高原一郎理事長)、と日本地熱協会(満田信一会長)が、「湯沼・アトサヌプリ地域」で地熱発電の資源量調査が行われている一環で、地元の子供たちを対象に、地熱発電について理解を深めてもらう目的で行われました。6年生22人の児童が集まり、スライドでの説明や発電の模型の実験に興味深く真剣な表情で体験し、地熱発電について学習しました。

1月27日、2月9日 美羅尾ヶ丘自治会創立50周年記念式典 高台自治会創立60周年記念講演会



美羅尾ヶ丘自治会(館野男会長)は1月27日、美羅尾ヶ丘自治会館で創立50周年記念式典を開催しました。式典では、2010年から8年間にわたり会長をつとめ、同自治会の発展に尽力された功績を讃えて寺岡清敏さんへ表彰状が贈られました。また、高台自治会(勝呂清会長)では2月9日、高台自治会館で創立60周年記念講演会が開催され、まちづくり政策課川井田東吾地域振興担当課長から町中心市街地再構築事業の進捗が報告され、参加した会員は熱心に聞き入っていました。